



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《学校教育目標》

地域に誇りをもち、心豊かに、たくましく、
自分で考え行動する生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和 6 年度学校通信

第 5 号

令和 6 年 1 1 月 1 1 日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

咲陽祭「Do our best 響け最高の melody」

10 月 5 日（土）に咲陽祭を開催しましたところ、多数ご来場いただき、誠にありがとうございました。今年は観客の皆様の利便性に配慮し、音楽の部と展示の部を体育館で同時に開催しました。展示の部は、美術同好会の作品を中心に体育館後方に展示しました。

音楽の部の前半は緊張感漂う中、各学年が課題曲と自由曲で競い合いました。学年練習ではぶつかり合うこともありましたが、最終的には音楽の力で 1 つにまとめることができました。メッセージ性の強い歌詞を、最高のメロディーに乗せて聴衆の皆さんに届けることができたと思います。

後半は吹奏楽部のパフォーマンスで、一気に盛り上がりました。そして締めは、昨年に続き「牛窓のうた」を全校合唱しました。この曲は、本校卒業生が音楽家の haruka nakamura 氏や画家で作詞家の牧野伊三夫氏と共同制作した曲です。全校合唱に向けて、実行委員が昼の校内放送で、その日の練習メニューや歌唱ポイントを伝え、学年を越えた縦割り班で練習を重ねていきました。この間、職員はサポート役に徹し、3 年生に役割と責任をもたせ、1、2 年生の指導を委ねたことで、3 年生の自己有用感が高まったと思います。「牛窓のうた」は、翌 10 月 6 日（日）には瀬戸内市芸術祭（合唱コンサート）でも流れました。今後、この曲が市内各地で流れ、故郷を想起させる曲に育っていくことを願っています。



スポーツの秋、文化の秋

9 月 21 日（土）、22 日（日）、28 日（土）に備前東地区中学校秋季総合体育大会、11 月 3 日（日）、9 日（土）に岡山県中学校秋季体育大会（警報発令に伴い変則日程）が各地で開催され、熱戦が繰り広げられました。保護者の皆様には、送迎などでお世話になりました。

単独校ではチーム編成ができないサッカー部は、邑久中・長船中と合同チームで出場しました。試合中、チームメイトやベンチから本校生徒に指示が飛ぶたびに、合同チームの関係性が見て取れ、微笑ましく思いました。また、そもそも本校に部のない剣道や陸上競技は、地域クラブから出場しました。

今年の夏は記録的な猛暑で、9 月中旬になっても残暑が厳しい時期が続きました。そうした中でも、選手の皆さんは冷水で首を冷やしたり、冷風機を活用したりしながら工夫して練習を続けていました。なお、スポーツ以外でも本校生徒が活躍していますので、次のとおり紹介します。



- ・岡山県中学校秋季体育大会出場
 - （サッカー）牛窓・邑久・長船合同チーム 備前東地区優勝
 - （剣道）個人・団体 2A 床 来海さん 備前東地区団体戦優勝
 - （陸上競技）2A 山本裕惺さん 備前東地区 2 年男子 1500m 2 位
- ・和気・瀬戸内支部科学研究発表会 優秀賞 1A 大濱英奈さん「真夏の車内は何度」
優秀賞 1A 木山 洵さん「溶き卵の加熱実験」
- ・和気・瀬戸内支部弁論大会 優秀賞 3A 杉本紗季さん「自分自身をアップデート」
優良賞 1A 大濱英奈さん「ひどい朝のこと」
- ・明るい家庭づくり作文コンクール 優秀賞 1A 山根翔智さん「我が家の畑の改造計画」
優秀賞 2A 鳴坂百華さん「みんなでスポーツ観戦」
優良賞 3A 真木心暖さん「私の夢」
- ・税についての書写 瀬戸内市長賞 2A 鳴坂百華さん

生徒会発足

9月30日（月）に生徒会中央委員候補者による立会演説会を開催し、市から借り受けた記載台や投票箱を用いて、本番さながらに投票を行いました。さらに後日、各学級で専門委員を選出し、10月18日（金）に認証式を行いました。各委員会の特徴ある取組とともに、牛窓スマイルツリー（よりよい学校生活のための建設的な意見や友達のよい行いの掲示）が実現することを願っています。

会長	2年	島田ソノさん	副会長	2年	池田 悠さん
総務	2年男子	山本裕惺さん	総務	2年女子	尾田千博さん
総務	1年男子	藤井峻大さん	総務	1年女子	大濱英奈さん

1年生「牛窓歴史探訪」

10月27日（日）に、5年ぶりに御霊社で太刀踊、昨年に続いて疫神社で唐子踊が奉納されました。家族ら関係者が見守る中、化粧を施し、華やかな衣装をまとった児童が口上、お囃子、踊りを披露しました。町内では、上部が宮大工、下部が船大工の技術の粋を集めた船形だんじりの勇壮な巡行もありました。11月3日（日）には、民族衣装をまとい、ドラ様の楽器を奏で行進する朝鮮通信使が再現されました。ひもが付いた帽子を被って回していたのは、韓国密陽（ミリャン）市の中学生でした。いかに伝統文化を持続し、集客と消費活動につなげるか、中学生も一体となって考えたい課題です。

秋祭りに先立ち、1年生は10月8日（火）に瀬戸内市教育委員会総務学務課参事 片岡学氏の案内で、経塚古墳（円墳、横穴式石室）、本蓮寺・御茶屋跡（朝鮮通信使の宿泊施設）、海遊文化館を訪れ、牛窓の文化観光資源を楽しみながら、地元の魅力を再発見していきました。現地研修で見聞したことは新聞にまとめ、11月末におかやま新聞コンクールに応募する予定です。

このように、本校では3学年を通して、地域とのつながりの中で挑戦する場や機会を意図的・計画的に設定した課題解決型学習 PBL「歴史に学び、今を知り、未来を創る ふるさと未来創造学習 Homing」に取り組んでいます。これは、3年生の地域創生案の発信をゴールとする政策提案型のプロジェクトです。一連のプロジェクトの1つとして、この度1年生が現地研修を行いました。



2年生「職場体験学習」

2年生は職場体験学習に先立ち、10月10日（木）に中国銀行支店長 齋藤満氏をお招きし、ビジネスマナー講座を開催しました。齋藤氏は、人事部で採用面接に携わった経験から、「マナーは相手のためであり、自分をよく見せるためでもある」「面接官は短時間で可否を決めなくてはならないので、最初の1分で目星を付ける」など、貴重な裏話を聞かせてくださいました。しかも、「恐れ入りますが…」「あいにくですが…」などのクッション言葉を使うと、「できる」という印象を与えるそうです。こうしたアドバイスを職場体験学習で生かすことを期待しています。

2年生は、11月12日（火）から4日間の日程で始まる職場体験学習を心待ちにしています。講座で学んだことを実践し体得するとともに、なりたい自分探しのきっかけにして欲しいと思います。

災害救助訓練見学

今般、各地で大規模災害が発生しています。そうした中、10月8日（火）に「災害時学校支援チームおかやま」の一員である高木美枝先生（本校前職員）をお招きし、「被災地の現状と災害時に私たちにできること」と題してご講演いただきました。高木先生は1月の能登半島地震直後に被災地で活動されました。時期尚早とも思える状況下にもかかわらず、学校再開を急ぐ理由を「災害は非日常。学校再開によって日常を取り戻すことで、心の安定につながる」と説明してくださいました。改めて学校という存在の大きさを感じました。また、「自然災害はいつどこで起きかわからないが、私たちの行動次第で被害を減らすことができる」とも教えてくださいました。平時にハザードマップで正しい知識を得ておき、互いに支え合う「お互い様」の関係づくりを進めておくことが、有事に役に立つと説かれました。

10月18日（金）には本校などを会場に、消防アーム車、県警ヘリ、巡視艇による災害救助訓練、並びに市危機管理課による避難所設営が行われました。県警ヘリが校舎上空を旋回すると、まるで砂かぶり席のごとく臨場感たっぷりで、中学生やルンビニ保育園園児から歓声が上がっていました。

